

平成29年度【研究指導】受入実績

■概要

学生・院生の研究利用・指導として、菅平高原実験所では31研究課題(学外:16、学内:15)、八ヶ岳演習林では13研究課題(学外:6、学内:7)、井川演習林では8研究課題(学外:3、学内:5)、筑波実験林では7研究課題(学外:0、学内:7)を受け入れた。

■研究指導受入実績

学外学生の研究課題のみ記入。

研究課題名		概要
1	好雪性変形菌を訪れる小型節足動物相の調査	金沢大学工学部の学部生による変形菌の分類、生態に関する調査。菅平高原実験所。(3名×3日)(4月10日-12日)
2	水域の好氣的メタン生成に関わる微生物のゲノムおよび遺伝子発現解析	山梨大学大学院の院生による水域の好氣的メタン生成に関わる微生物のゲノムおよび遺伝子発現解析。菅平高原実験所。(1名×6日)(4月10日-15日)
3	汎熱帯海流散布植物の集団遺伝構造および集団動態推定の解析および論文執筆	琉球大学 熱帯生物圏研究センター西表研究施設の院生によるデータ解析および論文執筆。菅平高原実験所。(1名×23日)(4月18日-5月10日)
4	植物の花蜜生産とマルハナバチの連関の時空間的変動	奈良女子大学理学部 学部生と教員の、開花フェノロジーの異なる草本植物を対象にどのように資源を獲得し、成長や繁殖に投資しているのか、またその季節性との連関性を明らかにすることを目的とした研究。菅平高原実験所。(1名×6日)(1名×62日)(1名×3日)(5月29日-31日、5月29日-7月29日、7月1日-3日、10月2日-4日)
5	植物のフェノロジーと花蜜分布の調査	奈良女子大学理学部 学部生による、植物のフェノロジーと花蜜分布の調査。菅平高原実験所。(1名×10日)(8月5日-14日)
6	草本植物の資源利用特性に関する研究	奈良女子大学大学院 人間文化研究科生物科学専攻の院生と教員の、開花フェノロジーの異なる草本植物を対象にどのように資源を獲得し、成長や繁殖に投資しているのか、またその季節性との連関性を明らかにすることを目的とした研究。菅平高原実験所。(1名×3日)(1名×124日)(1名×5日)(5月7日-9日、5月7日-9月7日、10月5日-9日)
7	樹木園と草原の開花フェノロジーの調査	奈良女子大学大学院 人間文化研究科生物科学専攻 院生の樹木園と草原の開花フェノロジーの調査。菅平高原実験所。(1名×7日)(9月8日-14日)
8	菅平高原のスキー場における花形質と送粉者の関係について	神戸大学 人間発達環境学研究科の院生と教員、富山大学の院生、学部生、教員による菅平高原のスキー場において花形質と送粉者の関係についての調査。菅平高原実験所。(5名×15日)(1名×3日)(5月17日-19日)
9	昆虫(ハナバチ類、甲虫類)と昆虫嗜好性線虫の採集を行う	森林総合研究所関西支所の研究員と鹿児島大学大学院の院生による、ハナバチ類、食材性甲虫の採集と線虫検出、形態、系統解析。菅平高原実験所。(2名×3日)(5月24日-26日)
10	ショウジョウバエの採集調査	北海道大学大学院理学研究員 院生と教員による長野県に分布するショウジョウバエを採集調査。菅平高原実験所。(1名×5日)(1名×4日)(5月24日-28日)

11	昆虫と昆虫嗜好性線虫の採集	鹿児島大学大学院連合農学研究科 院生による、昆虫と昆虫嗜好性線虫の採集。菅平高原実験所。(3名×3日)(6月8日-10日)
12	保全遺伝学のための種の遺伝構造および集団動態の推定のための打ち合わせ、データ解析など	福島大学 共生システム理工学類 学部生と教員による保全遺伝学のための種の遺伝構造および集団動態の推定。菅平高原実験所。(3名×2日)(6月12日-13日)
13	夏季に植生等の調査を行った菅平高原スキー場のスロープ周辺の森林植生の調査	神戸大学人間発達環境学研究科及び神戸大学発達科学部 教授、院生、学部生と、富山大学大学院理工学及び富山大学理学部 教授、院生、学部生による、夏季に植生等の調査を行いました菅平高原スキー場(峰の原・大松エリア含む)の冬季のスキー場利用状況およびスロープ周辺の森林植生の調査。菅平高原実験所。(5名×2日)(4名×5日)(6月26日-30日)
14	倒木、落枝などに穿孔したキクイムシの孔道等から担子菌類の分離	鳥取大学大学院 准教授と院生による、樹皮下キクイムシと関連する担子菌類の分類、生態に関する研究および、きのこ類の調査。菅平高原実験所。(3名×5日)(7月24日-28日)
15	全生物群生物多様性目録に向けて、植物-内生微生物の予備調査	京都大学生態学研究センター 准教授、森林総合研究所 研究員、筑波大学准教授と助教による全生物群生物多様性目録に向けた、植物-内生微生物の予備調査。菅平高原実験所。(2名×3日)(2名×4日)(2名×3日)(2名×2日)(7月18日-20日)(8月16日-19日、9月6日-9日)
16	ブナの表現型可塑性とその地域変異に関する研究	神戸大学森林研 院生による、ブナ個体内の変異を表現型可塑性ととらえ地域間で比較し、今後の気候変動に伴うブナの分布予測に繋げることを目的とした調査。菅平高原実験所。(2名×3日)(9月7日-9日)
17	冷温帯落葉広葉樹代償林における蒸発散量の直接計測	東京農大大学院農学研究科林学専攻・M2年生及び地域環境科学部森林総合科学科学部4年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(4名×7日)(4名×2日)(4名×2日)(5名×2日)(6名×2日)(4名×2日)(6名×2日)(3名×1日)(4名×1日)(3名×1日)(3名×1日)(6名×1日)(4名×1日)(6名×1日)
18	八ヶ岳南麓におけるキツネの植生調査	麻布大学大学院獣医学研究科・M2年生及び獣医学部3年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(2名×3日)(2名×3日)(2名×5日)(2名×3日)
19	ニホンヤマネにおける体毛サンプリング	千葉科学大学大学院危機管理学部動物危機管理学専攻・M2年生、学部4年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(2名×2日)(2名×2日)(2名×2日)(2名×2日)(3名×2日)(3名×2日)
20	菌類と菌食動物の相互作用に関する野外観察	横浜国立大学大学院環境情報研究院・教員、M2年生、学部4年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(4名×2日)(7名×2日)(2名×2日)(3名×2日)(2名×2日)
21	北八ヶ岳地域での火山地形と植生との対応の観察	信州大学理学部・教員、技術職員、学部2年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(4名×2日)
22	窒素飽和とマツ枯れ現象の関係解明	東京農工大学大学院農学研究院・教員、M2年生の研究利用。八ヶ岳演習林。(1名×1日)
23	砂防ダムによる土砂移動への影響の観測	静岡大学農学部の教員と総合科学技術研究科の院生等による研究利用。井川演習林。(8月8日、8月22日、・・・)
24	急斜面における土砂移動現象の現地観測	静岡大学農学部の教員と学生による研究利用。井川演習林。(4月24日、6月13日、・・・)
25	機器設置による降水観測	富山大学研究推進機構極東地域研究センターの教員と理学部の学生による研究利用。井川演習林。(5月31日-6月3日、7月31日-8月3日)、(3名×4日、1名×4日)